

佐川急便、スタートアップとの連携プログラム開始

Edited By LogisticsToday On 2020/09/07

佐川急便は7日、他社との連携によって新規ビジネスの創出を目指すオープンイノベーションプログラム「HIKYAKU LABO」(飛脚ラボ)を同日から開始したと発表した。

SAGAWA ACCELERATOR PROGRAM [HIKYAKU LABO]

佐川急便と一緒に 物流の未来を創りませんか?

エントリー締切 9.25[金]

次世代型大規模物流センター Xフロンティア

同社の経営資源とスタートアップ企業の持つ新しいアイデア、斬新なノウハウを活用し、新たなビジネスやサービスの共創を目指すもので、スタートアップコミュニティなどを運営するCreww(クルー、東京都目黒区)のウェブサイト上に専用コンテンツを開設した。

インターネットを活用した選考プロセスで「共創相手」となるスタートアップ企業との連携機会を探る。

募集期間は9月7日から25日までで、国内外すべてのスタートアップ企業が対象。募集テーマは「社会をより良く変えていける新しい物流サービスの創出」「社会インフラとしての物流機能の安定供給」「新たな生活スタイルを物流の力でもっと安心・便利に」の3つ。

応募を希望するスタートアップ企業は、専用サイトから協業案を2500字以内で提案する必要がある。提案に際し、営業基盤や物流インフラ、ノウハウ、SGホールディングスグループの連携といった佐川急便の経営資源を活用できるものとする。

■専用サイト

<https://creww.me/ja/collaboration/sagawa-2020-8>

URL to article : <http://www.logi-today.com/395707>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.